

1 学校教育目標

『個の能力を伸ばし、自立して社会の形成者となるための資質を養う教育の推進』

＜スローガン＞「明るく・仲良く・元気よく」

- ・知識と教養を身に付け 真理を求める生徒の育成
- ・豊かな情操と道徳心をもつ生徒の育成
- ・健やかな身体をもつ生徒の育成

2 年度の重点

ふるさとを愛し、主体的に学習を調整できる力を身に付け、自己実現を図る生徒の育成
(ふるさと教育、学力向上、キャリア教育の推進)

3 基本方針

次の方針に基づき目標実現に向けた学校経営を推進する。

- (1) 法令、学習指導要領、道・町の教育目標・計画等を踏まえて教育活動を推進する。
- (2) 設置者である町教育委員会と連携を深め、方針に沿った教育活動を推進する。
- (3) 学校の教育目標を効果的かつ効率的に実現することを目指し、PDCA マネジメントサイクルの各過程を円滑に進める。
- (4) 全教職員の創意と協力により学校の教育目標や経営方針の具現化を図る。
- (5) 教職員のキャリアに応じた資質・能力の向上に努めるとともに、十分に生かした人事配置により効果的かつ効率的な校務分掌を進める。
- (6) 法令遵守と服務規律の徹底を図る。
- (7) 業務の精選・効率化を図り、創造的でゆとりある教育活動の実現を目指す。
- (8) 家庭・地域との連携・協力を進める。
- (9) 危機管理体制の充実を図る。

4 具体的方策（重点）

従前の教育活動を継続するとともに目標実現に向けて次の項目に重点的に取り組む。

- (1) 確かな学力の向上
 - ①学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善（個別最適な学びと協働的な学びの実現）
 - ②ICTを主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かす取組の工夫。
 - ③学力低位層生徒への支援の充実（スキルアッププロジェクトの内容、方法等の改善・充実）
 - ④学習習慣（自主学習の効果的実施）の定着
及び学習の個性化（個に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供）
- (2) 豊かな人間性をはぐくむ教育
 - ①学習指導要領の趣旨を踏まえた道徳教育の推進（外部講師等の活用）
 - ②豊かな心や創造性の涵養（SCの効果的活用）
- (3) 健やかな身体をはぐくむ教育
 - ①保健体育科や様々な機会を通じた体力向上の取組
 - ②健康に関する指導
 - ③食育の推進
 - ④安全に関する指導（「1日防災学校」の継続及び防災意識の醸成）
- (4) 特別支援教育の充実
 - ①学校全体の特別支援教育の体制充実
 - ②通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする生徒への指導
- (5) 生徒指導の充実・キャリア教育の推進
 - ①いじめ・不登校の対応（生徒会による主体的な活動の推進・全教職員による教育相談体制の確立）
 - ②全教職員による自己指導能力(自分で考え判断する力)の育成を図る積極的な生徒指導の推進
 - ③自分らしい生き方を実現するキャリア教育の実践（コロナ禍における実践の工夫）
- (6) 外部との連携・協力
 - ①家庭・地域との連携（ふるさと教育の推進）（保護者・地域へ向けた取組内容の適切な発信）
 - ②小中高（大）連携
 - ③学校運営協議会・関係機関との連携強化
- (7) 教職員の資質・能力の向上
 - ①指導力向上につながる実践的な研修（校内研修、校外研修）・ICT活用スキルの向上
 - ②法令遵守と服務規律の徹底
- (8) 働き方改革の推進（「働き方改革プロジェクトチーム（HKP 745）」の積極的運用）
 - ①業務内容の精選
 - ②業務の効率化
 - ③勤務時間・健康管理の意識の徹底（「定時退勤日」の徹底）

『明るく 仲良く 元気よく』

教育目標

個の能力を伸ばし、自立して社会の形成者となるための資質を養う教育の推進

確かな学力の向上

- 地域や生徒の実態に応じた適切な教育計画の立案と実施
- 教育効果を高められる評価・評定
- スキルアッププロジェクトの定着化
- 自主学習の全校体制の取組
- 全国学力学習状況調査の分析と活用

- 生徒指導の機能を生かした教科指導、道徳、特別活動の工夫

豊かな人間性を
はぐくむ教育

- 情報モラル教育「Net モラル」の活用
- 外部講師を活用した道徳授業

- 基本的な生活習慣と社会規範の確立と定着

健やかな身体を
はぐくむ教育

- 生徒指導部との連携

- 体育的行事の計画、実践
- 清掃活動、給食指導の充実
- 学校保健、安全計画に関する内容の充実

特別支援教育の推進

- 特別支援コーディネーターとの連携による特別な支援を必要とする生徒への指導
- パートナーティーチャーの積極的な活用

- 特別支援コーディネーターとの連携による特別な支援を必要とする生徒への指導
- パートナーティーチャーの積極的な活用

生徒指導の充実・
キャリア教育の推進

- コロナ禍に対応するキャリア教育の展開
- 総合的な学習の時間の時数管理と積極的な運用
- 3年間を見通した進路指導の充実

- 「行事」「生徒会・委員会活動」「課外活動」の活発化

教職員の資質・
能力の向上

- 年単位の実践的な校内研修への転換
- PDCA サイクルによる授業改善の実践

外部との連携・協力

- 日常のかつ全教職員による「ふれあい」活動、適切な「教育相談」を通じての生徒理解

働き方改革の推進

- 「ふるさと学」小中高合同発表会の推進
- 新入生体験入学での小学校との連携
- 学習活動（スキルアッププロジェクトなど）の取組の積極的な発信と家庭との連携

- SCの積極的な活用
- 生徒指導連絡協議会における小中高、教育委員会、地域との連携

- 分掌内業務内容の精選と効率化
- 生徒に向き合う機会の焦点化

- 分掌内業務内容の精選と効率化